

令和5年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,227	2,257	30 (注1)	
施設整備費補助金	273	121	△ 152 (注2)	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	53	55	2 (注3)(注4)	
大学改革支援・学位授与機構施設費 交付金	—	—	—	
自己収入	266	268	2	
授業料、入学料及び検定料収入	159	161	2 (注4)(注5)	
附属診療所収入	79	75	△ 4 (注6)	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	28	32	3 (注7)	
産学連携等研究収入及び寄附金 収入等	89	83	△ 6 (注8)	
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
引当特定資産取崩	—	—	—	
計	2,909	2,784	△ 124	
支出				
業務費	2,534	2,430	△ 104	
教育研究経費	2,371	2,280	△ 90 (注9)	
診療経費	164	150	△ 14 (注10)	
施設整備費	273	121	△ 152 (注11)	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	12	20	7 (注12)	
産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等	89	54	△ 35 (注13)	
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費 納付金	—	—	—	
計	2,909	2,625	△ 284	
収入-支出	—	159	159	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に想定していなかった前年度からの繰越分及び授業料等免除経費や教育・研究基盤維持経費、特殊要因運営費交付金のうち年俸制導入促進費の追加配分があったことにより、予算額に比して30百万円の増となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、交付決定金額よりも執行金額が少なかったことにより、予算額に比して152百万円の減となっています。
- (注3) 補助金等収入には、計画時に想定していなかった補助金の交付があったため、予算額に比して2百万円の増となっています。
- (注4) 補助金等収入に記載の授業料等減免費交付金は35百万円であり、授業料等免除に使用しております。また、その同額を「授業料、入学金及び検定料収入」から控除しております。
- (注5) 自己収入のうち授業料、入学料及び検定料収入については、授業料収入の増加により、予算額に比して2百万円の増となっております。
- (注6) 自己収入のうち附属診療所収入については、常勤教員(医師)の退職に伴う診療時間の減少等により、予算額に比して4百万円の減となっています。
- (注7) 自己収入のうち雑収入については、雑収入の増加により、予算額に比して3百万円の増となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金受入額の減少などにより、予算額に比して6百万円の減となっています。
- (注9) 業務費のうち教育研究経費は、管理的経費の節減などにより、予算額に比して90百万円の減となっています。
- (注10) 業務費のうち診療経費は、常勤教員の診療に係る時間の減少に伴う人件費の減少などにより、予算額に比して14百万円の減となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に記載した理由により、予算額に比して152百万円の減となっております。
- (注12) 補助金等については、(注3)に記載した理由などにより、予算額に比して7百万円の増となっております。なお、授業料等減免費交付金35百万円の執行は、授業料免除の実施により「授業料、入学金及び検定料収入」に充当したもものとして、支出区分の「補助金等」には計上しておりません。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に記載した理由などにより、予算額に比して35百万円の減となっています。